

リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪西小学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて

1 どの子も自己選択、自己決定できる環境設定①

音楽（4年）

① 足場かけ（細分化した段階的な選択式）のめあてと振り返りの活用

旋律の特徴を生かしたりリコーダー奏

7月24日 (木)	めあて	陽気な船長のせんりつのおとくちようを生かして演奏しよう。	ふりかえり①	ふりかえり②	
	内容	・自分でめあてを決める。 ・動画などをもとに、自分のめあてに むかって練習する。			
	どのように演奏したいか 船長の様子や曲想を考 えて書く	今日の自分のめあて	できたことをチェックしよう。	今日がんばったことや 次がんばりたいこと を書く。	コメント
		前半をはずむようにふこう	https://docs.google.com/forms/d/1FAIpQLScP8Fzq-QQ5zA7hKvclmcPufMktD3z5sP-SR5Qm9dnylyte/vkcfom?usp=st_link	前半を完璧ではないけど引けるようになったので良かったです。	前半の音を「青龍」にするには、ど んなことを意識したらいいかなと 良さそうかな
		前半をはずむようにふこう	https://docs.google.com/forms/d/1FAIpQLScP8Fzq-QQ5zA7hKvclmcPufMktD3z5sP-SR5Qm9dnylyte/vkcfom?usp=st_link	前半はうまく前半のよばいもできた。後半の曲想により、	前半と後半の歌き方のちがいを他の （？）を参考にしながら覚えてもらいたい
		前半と後半の感じを覚えて通して	https://docs.google.com/forms/d/1FAIpQLScP8Fzq-QQ5zA7hKvclmcPufMktD3z5sP-SR5Qm9dnylyte/vkcfom?usp=st_link		
		正しい音でふけるようになる	https://docs.google.com/forms/d/1FAIpQLScP8Fzq-QQ5zA7hKvclmcPufMktD3z5sP-SR5Qm9dnylyte/vkcfom?usp=st_link	アの 次は	る、きつと他の人でもひ きつていける人がいると 思えてあげられたらいいな
		前半と後半の感じを覚えて通して	https://docs.google.com/forms/d/1FAIpQLScP8Fzq-QQ5zA7hKvclmcPufMktD3z5sP-SR5Qm9dnylyte/vkcfom?usp=st_link	前半	フターフープフープの ように後半を吹けたい
		正しい音でふけるようになる	https://docs.google.com/forms/d/1FAIpQLScP8Fzq-QQ5zA7hKvclmcPufMktD3z5sP-SR5Qm9dnylyte/vkcfom?usp=st_link		おもしろいできたんだね。 な？
		前半と後半の感じを覚えて通して	https://docs.google.com/forms/d/1FAIpQLScP8Fzq-QQ5zA7hKvclmcPufMktD3z5sP-SR5Qm9dnylyte/vkcfom?usp=st_link		のところがよくふけてい

成果と課題を明確にするために、
自分の言葉でも振り返りGoogle Formsで自分の進捗確認
（足場かけの振り返り）

できるようになったことにチェックをしましょう

- ☒ 正しい音でふけた
- ☒ 前半をはずむようにふけた
- ☒ 後半をなめらかにふけた
- ☒ 前半をはずむように、後半をなめらかに通してふけた
- ☐ 後半の下のせんりつをふけた
- ☐ 後半の下のせんりつをなめらかにふけた
- ☐ 自分の演奏を自分できいてチェックできた
- ☐ 友だちと合わせてふけた
- ☐ 自分がめざす曲の感じを出してふけた

足場かけのめあて

- ・足場かけのめあてや振り返りは、自分で考えづらい子どもにとってはとても有効。
- ・足場かけのめあてや振り返りにより、学習の見通しや自分の学習進捗等を確認できる。
- ・めあてを自己選択、自己決定し、学習の見通しが持てると、粘り強く取り組む姿や自分の学習を振り返る姿、次時の学習へとつなげていく姿がより多く見られえるようになる。
- ・自分の言葉でも振り返りを入力すると、自分の学びの成果と課題がより明確になる。
→ ICTの活用により、教師が個々の学びの様子を確認しやすくなる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪西小学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて

2 どの子も自己選択、自己決定できる環境設定②

② 追究できる環境の幅を広げるための工夫

既習の学びが分かる掲示物
(旋律の特徴がわかる楽譜等)

外ノーム等の具体物の用意

「めあての共有化」
(ICTやボード等の活用)演奏ス「ド」が通常とゆっくりの範奏
と伴奏動画等の準備…「クラウ」の活用

- ・ 内容（何を）と方法（どのように）の見通しがあると子どもは追究できる。⇒ 個別最適な学びでは学習環境や掲示物が重要
- ・ 一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会を提供するのが教師の役目

3 個別の学びの成果を協働に持ち込む適切な場面設定

教師が意図的に個別の学びを協働的な学びの場面に位置付ける

A 児の学び



個別の学び…①動画(お手本)→正しい旋律の確認
②動画(伴奏)→自分のリーダーの音の確認



個別の学び…③動画(ゆっくり)→指使いの確認
④動画(外ノーム)→正しいテンポで吹く練習



教師の出…子どもの学習進捗状況を確認後、**グループ学習を促す**。(子どもが見通しをもっているかを確認)



協働的な学び…演奏後、自分の学びを語る。意見交換により、自分の追究を客観視することにつながる。



協働的な学び…一通り練習し終わっても「もう一回合わせてみる？」と次の学びを考える姿へ。

- ・ 教師の適切な出により、個別の学びの成果を協働に持ち込む。(子ども同士の対話を促す) 協働することで自分たちの学びを客観視したり、友だちの考えを関連付けて自分の考えを深めたり、次の学びを考えたりする姿が見られた。
⇒ 学習を調整しようとしている姿へ